

倉吉養護学校

交流及び共同学習について

交流担当

本校の交流及び共同学習のねらい

保幼小中高の幼児児童生徒や地域の人々と本校児童生徒が対等・平等なスタンスで出会い、ともに交流・学習する。



- お互いが様々な人々の生活する社会について知り、人と人が一緒に暮らすための好ましい**社会性**を身につけ、**人間性豊かに生きる**ことを大切にしようとする児童生徒を育成する。
- 地域社会における**ノーマライゼーション**（障がい者が健常者と一緒に助け合いながら暮らしていくこと）の**実現**をはかる。

視 点	指導段階例
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">・自分なりの方法で、相手に気持ちを伝えることができる。・友だちとやりとりをし、相手の気持ちを受け止めることができる。
人間関係	<ul style="list-style-type: none">・友だちに関心を持つことができる。・友だちと一緒に活動することができる。・友だちと一緒に活動することを楽しむことができる。・集団活動に積極的に関わることができる。
将来の地域社会における生活にむけて	<ul style="list-style-type: none">・交流校の友だちと楽しく関わることができる。・交流及び学習中に助け合うことができる。・お互いが地域の仲間であることを意識することができる。・学校外の地域生活で声をかけ合うことができる。・学校外の地域生活で助け合うことができる。

交流及び共同学習の実際

《直接交流》

①学校間交流

- ・学部ごとに、同世代の学校の児童生徒との交流

②居住地校交流

- ・本校児童生徒が、個別に居住地の学校に出かけて行う交流

③個別交流

- ・他校の児童生徒が継続的に本校に来て行う交流（支援部担当）

④地域交流「こころのふるさと くらよう」

- ・地域へ出かけていき、地域の人と共に活動する交流（プロジェクト担当）

《間接交流》

作品交流、行事の招待状、学校紹介DVDでの啓発など